

# 国体

## 報告と展望

### 「トキめき新潟国体」から 「ゆめ半島千葉国体」へ



マスコットキャラクター  
「チーバくん」



### 「ゆめ半島千葉国体」について

千葉県柔道連盟理事長 坂本 勝矢

第65回国民体育大会「ゆめ半島千葉国体」が平成22年9月25日から10月5日までの11日間、「いま 房総の風となり この一瞬に輝きを」をスローガンで開催されます。

柔道競技は10月1日から3日までの3日間、成田国際空港のある成田市のサウンドハウス・スポーツセンター（成田市体育館）のフィットネスハウス・アリーナにて行われます。

願いますと、昭和48年の若潮国体（柔道競技は柔道の盛んな館山市



### 「トキめき新潟国体」を終えて

新潟県柔道連盟理事長 佐々木 睦夫

第64回国民体育大会「トキめき新潟国体」柔道競技（10月3日～5日・新潟市北区豊栄総合体育館）を成功裏に終えることが出来ました。45年ぶりの2巡目となった国体は、度重なる災害の際に全国の方々からいただいた温かい支援と励ましに「ありがとう」を全国に伝えられる大会を目指して、「伝えよう 感謝の気持ちをトキめきを」をスローガンに、県民総参加で準備を進めて来ました。

県柔連では五十嵐会長を中心に「柔道総合優勝」を目標に掲げ、平成13年から強化を進めると共に、全日本柔道連盟指導のもと、県、市との連携を密にして強化のみならず運営面にも総力を挙げて取り組んで来ました。

新潟国体までの3国体（兵庫、秋田、大分）では入賞こそなかったものの、成年男女は紙一重の内容での敗退であり、本番では必ずよい結果を出してくれるものと確信しておりました。

迎えた第1日目の少年男子、苦戦が予想されたなかで、強豪福岡、栃木を連破し準決勝に進出、35年ぶりとなる4位入賞を果たし、幸先のよいスタート。2日目の成年女子は、何度も崖っぷちに立たされながらも、各選手の踏ん張りによって初優勝。最終日の成年男子は決勝で東京都に力及ばず敗退するも、持てる力を十二分に発揮した準優勝によって本県の柔道総合優勝が決定しました。

本県選手団の団結力、最後まで諦めない勝負への執念、全力を尽くした姿勢に会場から惜しみない拍手をいただくことが出来ました。

総合優勝という快挙に県柔連として大きな自信を得ることが出来、今後の柔道普及発展と更なる向上に努力したいと思います。

トキめき新潟国体柔道競技の成功は、多くの皆様方からのご指導ご協力の賜物です。サポートしていただきました関係各位は勿論のこと、全国から御来県の皆様方、地元ボランティアの方々的心温まるおもてなしに心より感謝申し上げます。

において開催）以来、37年振り2巡目の国体となります。前回は初の国体ということもあり、県全体が非常に盛り上がった、まさに一大イベントでした。しかし、今回は時代や社会の背景も変わり、また重なる不況にみまわれるなか、県全体も元気がなく空回りしている状態です。

県柔連といたしましても、最短の5ヵ年計画を立て、多くの皆様方にご支援をいただいで来ました。その期待に添うためにも、必ず納得していただける成績を収めなくてはと、柔道関係者一丸となり、国体に向け努力しているところです。

全国から訪れる選手、役員、観客の皆様方に思い出に残る大会になるよう努力いたします。多くのご来県を心よりお待ちしております。

日本航空

JALは全日本柔道連盟を応援しています。

世界の空でお会いしましょう。



# POCARI SWEAT



ポカリスエットは、財団法人 全日本柔道連盟を応援しています。